

3	「環境・安全安心」で幸せ実感	1	「環境モデル都市」として太陽光発電等の利用促進を目指すサンシャインプロジェクトなどを推進します。ごみ減量・リサイクルを推進し、全国トップレベルの少ないごみ排出量を維持します。																			
取組	環境モデル都市の推進		担当	環境モデル都市推進課、清掃施設課、下水道施設課																		
実績	<table><tr><td></td><td>H26年度</td><td>H27年度</td><td>H28年度</td><td>H29年度</td><td></td></tr><tr><td>市内に設置された太陽光発電システムの出力容量(累計)</td><td>90,621</td><td>119,183</td><td>140,491</td><td>148,796</td><td>kW</td></tr><tr><td>松山市域内からの温室効果ガス排出量</td><td>433.0 (H24実績値)</td><td>456.5 (H25実績値)</td><td>393.1 (H26実績値)</td><td>377.4 (H27実績値)</td><td>万t-CO₂</td></tr></table>					H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		市内に設置された太陽光発電システムの出力容量(累計)	90,621	119,183	140,491	148,796	kW	松山市域内からの温室効果ガス排出量	433.0 (H24実績値)	456.5 (H25実績値)	393.1 (H26実績値)	377.4 (H27実績値)	万t-CO ₂
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度																	
	市内に設置された太陽光発電システムの出力容量(累計)	90,621	119,183	140,491	148,796	kW																
	松山市域内からの温室効果ガス排出量	433.0 (H24実績値)	456.5 (H25実績値)	393.1 (H26実績値)	377.4 (H27実績値)	万t-CO ₂																
	● スマートシティの推進																					
	・ 中島地域における再生可能エネルギー等可能性調査の実施(H26.12)																					
	・ 環境モデル都市まつやま推進協議会からの提言書を踏まえ、「松山スマートシティ推進事業」を開始(H28年度～)																					
	・ 太陽光発電システムなどで無駄なくエネルギーを「創る」、電気自動車等の蓄電池で「貯める」、BEMS(ビル・エネルギー・マネジメント・システム)でエネルギーを「賢く使う」仕組みの実証事業を中島地域で実施(H30年度～)																					
	・ 太陽光発電システム設置補助金制度に、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)導入への上乗せ補助を新設(H30年度～)																					
	<table><tr><td>太陽光発電システム設置</td><td>H30.11末</td></tr><tr><td>補助件数(累計)</td><td>13,256 件</td></tr><tr><td>補助出力容量(累計)</td><td>59,377 kW</td></tr></table> ※H29累計実績は、中核市1位				太陽光発電システム設置	H30.11末	補助件数(累計)	13,256 件	補助出力容量(累計)	59,377 kW												
太陽光発電システム設置	H30.11末																					
補助件数(累計)	13,256 件																					
補助出力容量(累計)	59,377 kW																					
<table><tr><td>公共施設への太陽光発電システム導入数</td><td>H30.11末</td></tr><tr><td></td><td>71 施設</td></tr></table>				公共施設への太陽光発電システム導入数	H30.11末		71 施設															
公共施設への太陽光発電システム導入数	H30.11末																					
	71 施設																					
● 地域循環システムの推進																						
・ 中央浄化センターに消化ガス発電設備を整備(H27.4) ※中四国初																						
・ 横谷埋立センターにエコ次亜生成施設を整備(H29.4) ※日本初松山方式																						
<受賞>																						
・ エコ次亜の取組みが「平成29年度資源循環技術・システム表彰 奨励賞」を受賞(H29.10)																						
● 持続可能性をめざす自治体で構成された国際ネットワーク「ICLEI」に加盟(H30.3)																						
																						
消化ガス発電施設(中央浄化センター)		エコ次亜生成施設(横谷埋立センター)																				

3	「環境・安全安心」で幸せ実感	1	「環境モデル都市」として太陽光発電等の利用促進を目指すサンシャインプロジェクトなどを推進します。ごみ減量・リサイクルを推進し、全国トップレベルの少ないごみ排出量を維持します。																			
取組	ごみ減量・リサイクルの推進		担当	環境モデル都市推進課、清掃課、廃棄物対策課																		
実績	<table><thead><tr><th></th><th>H26年度</th><th>H27年度</th><th>H28年度</th><th>H29年度</th><th></th></tr></thead><tbody><tr><td>1人1日当たりのごみ排出量</td><td>813.0</td><td>817.5</td><td>789.3</td><td>－</td><td>g</td></tr><tr><td>ごみの再資源化率</td><td>20.7</td><td>20.6</td><td>20.4</td><td>－</td><td>%</td></tr></tbody></table> ※H29実績はH31.3末確定見込み					H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		1人1日当たりのごみ排出量	813.0	817.5	789.3	－	g	ごみの再資源化率	20.7	20.6	20.4	－	%
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度																	
	1人1日当たりのごみ排出量	813.0	817.5	789.3	－	g																
	ごみの再資源化率	20.7	20.6	20.4	－	%																
	● 市民1人1日当たりのごみ排出量(人口50万人以上)が10回目の最少を達成(H28年度) ※ H18～H26年度まで9年連続で最少 ・ 3010(さんまるいちまる)運動等によるごみ減量リサイクルの推進(H29年度～) ・ 「株式会社ぐるなび」と協働して、食品ロス削減に賛同する3010運動協賛店を募集・登録し、食事を提供する側からも啓発(H29年度～) ● 事業系ごみ減量化の新たな取り組み ・ 事業者用ごみ分別はやわかり帳を作成し、市内の約18,000事業所に送付(H27年度) ● 家庭系ごみの減量化の新たな取り組み ・ 段ボールコンポストの無料配布を実施(H27～H28年度) ※合計:500個 ● 小型家電製品の回収ボックスを設置(H27年度～) ※合計:8箇所 ・ 本庁、三津浜支所、北条支所、浮穴支所、Re・再来館の5箇所を設置(H27.11～) ・ 石井支所、清掃課に設置(H29.1)、松山総合コミュニティセンターに設置(H30.4) <table><thead><tr><th></th><th>H27年度</th><th>H28年度</th><th>H29年度</th><th>H30.11末</th></tr></thead><tbody><tr><td>小型家電製品回収量(概量)</td><td>2.2</td><td>3.2</td><td>4.2</td><td>2.9</td></tr></tbody></table> トン					H27年度	H28年度	H29年度	H30.11末	小型家電製品回収量(概量)	2.2	3.2	4.2	2.9								
	H27年度	H28年度	H29年度	H30.11末																		
小型家電製品回収量(概量)	2.2	3.2	4.2	2.9																		
● 雑紙の適正排出について啓発(H28年度～)																						
 3010運動ステッカー  食品ロス削減街頭キャンペーン(愛媛県と合同実施)																						

3	「環境・安全安心」で幸せ実感	2	不法投棄の防止対策を強化します。原因者に対する徹底した責任追及を前提に、愛媛県と連携しながら、産業廃棄物処理問題への適切な対応を行い、地域住民の安全を確保します。							
取組	産業廃棄物処理問題への適切な対応		担当	廃棄物対策課						
実績	● 支障等除去対策工事の実施(H27.12～H30.10末) 対策工事進捗率 <table><tr><td>H28年度</td><td>H29年度</td><td>H30.10末</td></tr><tr><td>50</td><td>90</td><td>100</td></tr></table> ※完了 ・ 周辺環境のモニタリングを行い、ホームページで公表するとともに、地元説明会を開催 ・ 産業廃棄物処理業者の業界団体や排出者から、事業への協力として環境事業寄付金を受け入れ(H28年度～) ※合計:約200万円 ● 原因者に対する責任追及 ・ 措置命令などの行政処分を行うとともに、命令違反に対し刑事告発を行い厳正に対処 ・ 代執行費用について費用求償を行い、一部を回収 ● 愛媛県との連携 ・ 県と財政的、人的及び技術的支援から成る総合的支援に関する協定を締結(H27.3) ● 不法投棄(不適正処理)の防止 ・ 再発防止策を定め、処理業者等への立入検査を強化 ・ 日々の不法投棄防止パトロールに加え、年6回のスカイパトロールを実施				H28年度	H29年度	H30.10末	50	90	100
	H28年度	H29年度	H30.10末							
	50	90	100							
 完了した支障等除去対策工事										

3	「環境・安全安心」で幸せ実感	3	南海トラフ巨大地震等に備えた防災士(日本一)、消防団(団員数四国一、女性団員数日本一)、自主防災組織(結成率100%)の充実など、さらに地域防災力を強化します。																																						
取組	地域防災力の強化		担当	地域防災課、予防課、総務課、警防課、危機管理課、河川水路課、医事薬事課																																					
実績	<table><tr><td></td><td>H27年度</td><td>H28年度</td><td>H29年度</td><td>H30年度</td><td>H30.11末</td><td></td></tr><tr><td>防災士数</td><td>2,370</td><td>3,030</td><td>3,759</td><td>4,517</td><td>5,031</td><td>人 ※全国1位</td></tr><tr><td>消防団員数</td><td>2,410</td><td>2,416</td><td>2,427</td><td>2,437</td><td>2,439</td><td>人 ※四国1位</td></tr><tr><td>女性消防団員数</td><td>184</td><td>182</td><td>186</td><td>210</td><td>231</td><td>人 ※全国1位</td></tr><tr><td>災害協定締結数</td><td>119</td><td>132</td><td>141</td><td>147</td><td>147</td><td>件</td></tr></table>							H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H30.11末		防災士数	2,370	3,030	3,759	4,517	5,031	人 ※全国1位	消防団員数	2,410	2,416	2,427	2,437	2,439	人 ※四国1位	女性消防団員数	184	182	186	210	231	人 ※全国1位	災害協定締結数	119	132	141	147	147	件
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H30.11末																																			
	防災士数	2,370	3,030	3,759	4,517	5,031	人 ※全国1位																																		
	消防団員数	2,410	2,416	2,427	2,437	2,439	人 ※四国1位																																		
	女性消防団員数	184	182	186	210	231	人 ※全国1位																																		
	災害協定締結数	119	132	141	147	147	件																																		
	(4.1現在)																																								
	● 市内全41地区で自主防災組織を結成 ※結成率100% ・ 自主防災組織で家具転倒防止対策研修会を開催(H29.7～) ・ 全41地区で地区防災計画策定(H30.3)																																								
	● 防災士数 全国1位、消防団員数 四国1位、女性消防団員数 全国1位 を維持 ・ 防災協力事業所表示制度を開始(H27.4～) ・ 愛媛大学と協働し、「実践的學生防災リーダー育成プログラム」を実施(H27.4～) ・ 地域防災関係機関及び団体の連携を強化するため「松山市地域防災協議会」を設立(H27.5) ・ 松山市大学生等消防団活動認証状の交付開始(H27.6～) ・ 大学生消防教育課程(大学生防災サバイバル)を開催(H27～H29年度) ・ 愛媛大学防災リーダークラブ結成(H27.10) ・ 大学生が履修授業で防災士資格を取得できる愛媛大学「環境防災学」を市内の他の大学生も受講できる環境を整備(H28年度～) ※ 4大学2短大から769人の大学生防災士が誕生																																								
	● 生活用水として共用できる地上式の耐震性貯水槽(市民共用水槽)を設置 ・ 立花蔵置所(H27.4)、高浜中学校(H28.3)、森松蔵置所(H29.5)、潮見小学校(H30.1)																																								
● 避難所となる小中学校体育館の窓ガラスに飛散防止フィルム貼付け(H27年度)																																									
● 中島地区で防災行政無線(同報系)をデジタル化(H27～H28年度) ・ 遠隔操作装置(中島支所)と屋外拡声子局32局を整備																																									
● まつやま内水ハザードマップを全戸配布(H28年度)																																									
● 災害用備蓄物資等の配備 ・ 資機材(発電機、リヤカー、投光器、簡易トイレ等)を配備 《配備箇所数》 ※H30.11末 市立保育所:全28園、市立幼稚園:全5園、市立小中学校:全88校、公民館:全41館、私立中等教育学校:2校、公立高等学校:3校、私立高等学校:6校、大学4校 ・ 熊本地震被災地へ提供した災害用備蓄物資の「からだ拭き用ボディタオル」等を追加備蓄(H28年度～) ・ 公民館全41館へ食糧、飲料水、毛布などを分散備蓄(H30年度) ※H31.3完了																																									
● 救護所等に必要な医薬品の備蓄開始(H30年度～)																																									
<受賞> ・ 自主防災組織ネットワーク会議が「平成28年防災功労者内閣総理大臣表彰」を受賞(H28.9) ・ 松山市消防局が第1回予防業務優良事例表彰消防庁長官賞(最高位)を受賞(H29.5) ・ 「第22回防災まちづくり大賞 日本防火・防災協会会長賞」を受賞(H30.3) ※ H25年度「第18回防災まちづくり大賞 消防庁長官賞」に次いで2回目の受賞																																									

3	「環境・安全安心」で幸せ実感	4	小中学校、幼稚園、保育所、公民館、道路橋梁などの耐震化を進めます。一般木造住宅や特定の民間の病院・ホテルなどの耐震化を支援します。																																																																		
取組	市有施設の耐震化の促進		担当	学習施設課、地域学習振興課、保育・幼稚園課、市民課、人権啓発課、住宅課、道路管理課																																																																	
実績	<table><tr><td>耐震化率</td><td>H26年度</td><td>H27年度</td><td>H28年度</td><td>H29年度</td><td>H30.11末</td><td></td></tr><tr><td>小学校</td><td>87.2</td><td>92.7</td><td>100.0</td><td>－</td><td>－</td><td>%</td></tr><tr><td>中学校</td><td>95.2</td><td>96.4</td><td>100.0</td><td>－</td><td>－</td><td>%</td></tr><tr><td>幼稚園</td><td>85.7</td><td>85.7</td><td>85.7</td><td>100.0</td><td>－</td><td>%</td></tr><tr><td>保育所</td><td>77.8</td><td>80.8</td><td>84.6</td><td>84.6</td><td>84.6</td><td>%</td></tr><tr><td>公民館</td><td>95.1</td><td>95.1</td><td>97.6</td><td>97.6</td><td>97.6</td><td>%</td></tr><tr><td>支所・出張所</td><td>96.6</td><td>100.0</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>%</td></tr><tr><td>ふれあいセンター</td><td>70.0</td><td>80.0</td><td>80.0</td><td>80.0</td><td>90.0</td><td>%</td></tr><tr><td>市営住宅</td><td>91.0</td><td>94.0</td><td>99.0</td><td>100.0</td><td>－</td><td>%</td></tr></table>						耐震化率	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30.11末		小学校	87.2	92.7	100.0	－	－	%	中学校	95.2	96.4	100.0	－	－	%	幼稚園	85.7	85.7	85.7	100.0	－	%	保育所	77.8	80.8	84.6	84.6	84.6	%	公民館	95.1	95.1	97.6	97.6	97.6	%	支所・出張所	96.6	100.0	－	－	－	%	ふれあいセンター	70.0	80.0	80.0	80.0	90.0	%	市営住宅	91.0	94.0	99.0	100.0	－	%
	耐震化率	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30.11末																																																															
	小学校	87.2	92.7	100.0	－	－	%																																																														
	中学校	95.2	96.4	100.0	－	－	%																																																														
	幼稚園	85.7	85.7	85.7	100.0	－	%																																																														
	保育所	77.8	80.8	84.6	84.6	84.6	%																																																														
	公民館	95.1	95.1	97.6	97.6	97.6	%																																																														
	支所・出張所	96.6	100.0	－	－	－	%																																																														
	ふれあいセンター	70.0	80.0	80.0	80.0	90.0	%																																																														
	市営住宅	91.0	94.0	99.0	100.0	－	%																																																														
※市営住宅は除却・建替え予定を除き完了																																																																					
● 主な市有施設の耐震化 H26年度 中島支所、清水ふれあいセンター H27年度 朝生田ふれあいセンター、味生支所、太山寺団地 H28年度 余土保育園、余土公民館、恵良団地 H29年度 荏原幼稚園、小栗団地、山西団地 H30年度 古川ふれあいセンター ● 道路橋梁 ・ H26年度に追加指定された緊急輸送道路の中で耐震化が必要な橋梁(末広橋外)は、H30年度に耐震化調査設計が終わり、H31年度から耐震化対策工事を実施予定																																																																					
取組	民間建築物の耐震化の支援		担当	建築指導課、住宅課																																																																	
実績	● 木造住宅 ・ 木造住宅耐震改修等補助事業の上限額を60万円から90万円に増額(H26年度～) ※「住まいるリフォーム補助事業」の併用による優遇を実施(H26、H27年度) ※「わが家のリフォーム応援事業」として拡充し、加算により、最大100万円の補助(H28年度～) わが家のリフォーム応援事業 H30.11末 申請数(累計) 2,202 件 ・ 県と連携して「木造住宅耐震診断技術者派遣事業」を創設したほか耐震診断補助制度の限度額を2万円から4万円に増額(H28年度～) <table><tr><td>耐震診断実施数</td><td>H26～H30.11末</td><td>耐震改修工事実施数</td><td>H26～H30.11末</td></tr><tr><td>1,030 戸</td><td></td><td>443 戸</td><td></td></tr></table> ● 特定建築物 ・ 県と連携し、民間特定建築物の所有者に対し、耐震診断、改修設計及び改修工事費の一部を補助(耐震診断はH27年度まで) H26～H27年度 耐震診断補助数 12 施設 <table><tr><td>耐震改修等補助数</td><td>H26～H30.11末</td><td></td><td>H30.11末</td></tr><tr><td>(設計)</td><td>9 施設</td><td>改修が必要な建築物</td><td>13 施設</td></tr><tr><td>(工事)</td><td>5 施設</td><td>改修済みの建築物</td><td>5 施設</td></tr></table>						耐震診断実施数	H26～H30.11末	耐震改修工事実施数	H26～H30.11末	1,030 戸		443 戸		耐震改修等補助数	H26～H30.11末		H30.11末	(設計)	9 施設	改修が必要な建築物	13 施設	(工事)	5 施設	改修済みの建築物	5 施設																																											
	耐震診断実施数	H26～H30.11末	耐震改修工事実施数	H26～H30.11末																																																																	
	1,030 戸		443 戸																																																																		
	耐震改修等補助数	H26～H30.11末		H30.11末																																																																	
	(設計)	9 施設	改修が必要な建築物	13 施設																																																																	
	(工事)	5 施設	改修済みの建築物	5 施設																																																																	

3	「環境・安全安心」で幸せ実感	5	市議会の決議に基づき、西条の水を守る立場で、西条分水を基本とした新規水資源確保に努めます。水需給計画の精査も行います。	
取組	新規水源の確保		担当	水資源対策課
実績	●「水問題に関する協議会」幹事会の開催(2期目就任以降、第9～14回の6回開催) 《検討事項》 第9回：西条市の地下水の低下と塩水化の防止対策について 第10回：西条市の地下水の低下と塩水化の防止対策について ※ 県から示された「西条と松山の水問題」に対する6つの提案(報告事項) 第11回：「西条市地下水保全管理計画」(案)の検討状況について 第12回：各市の水問題の課題等の状況について ※ 松山市長期的水需給計画の改訂状況ほか 第13回：「西条市地下水保全管理計画」の策定等について 第14回：「西条市 地下水フォーラム2018」の結果及び「県の6つの提案」への松山市回答等について 《確認されている項目》 ・ 西条市は、地下水の低下や塩水化が問題。 ・ 地下水の問題は、灌漑期において、加茂川の長瀬地点で、$5\text{ m}^3/\text{sec}$の水量を確保することで防止が可能。 ・ 西条市は、長瀬地点の流量を確保し、地下水を涵養するために、黒瀬ダムの水利用を考えている。 ・ 愛媛県からは、黒瀬ダムには西条市の地下水の問題を解決するのに必要な水量があり、その上でさらに利用可能な水量が$58,000\text{ m}^3/\text{日}$あると示された。(松山市の必要とする水量は$40,000\text{ m}^3/\text{日}$) ・ 今後も西条市及び松山市の水問題について、幹事会で協議する。 ●「松山市長期的水需給計画 基本計画」(H16.2策定)の検証作業を行い、H37年度を目標年次とする同計画の改訂版を策定(H29.2) ●「西条と松山の水問題に対する6つの提案」について、愛媛県へ回答(H29.9) ● 市長が西条市を訪問し、西条市長に対して県の6つの提案への回答内容を説明するとともに、黒瀬ダムの水の有効活用について協力依頼(H29.11) 平成6年の大洪水時、ダムの水位が下がった取水塔付近(石手川ダム)			